

第2章 基 本 理 念

第3章 基 本 目 標

ふるさとを愛し 未来に向かって

たくましく生きる人材の育成

厚真町教育振興基本計画では、計画達成に向けた基本理念に基づき、平成28年度から令和7年度までの10年間の基本的な目標を掲げています。

「**ふるさとを愛し**」とは、自己の成長の原点である厚真町の自然、歴史、文化、伝統行事、産業といった教育資源（「ひと・もの・こと」）を活用し、学んだことを自己の考え方や生き方に反映するとともに、ふるさとに誇りを持つことを意味しています。

「**未来に向かって**」とは、未来を見つめて目標を定め、自らの可能性を最大限に追求することを意味しています。

「**たくましく生きる人材の育成**」とは、社会がどのように変化しても、自分の夢や希望を持ち続け、その実現に向かって努力と挑戦を重ねることを意味しています。

そして、この理念を学校教育と社会教育それぞれの分野が共有し、自分たちの地域課題に正対することで、地域の一員として地域に貢献したり、地域を大切にしたりする強い心を持った人を育てることを表しています。

第3章 基本目標

教育は、町民一人一人が持つ能力・可能性を最大限に伸張させ、個々の人生を豊かにするとともに、社会全体を一層発展させる基盤です。厚真町では、10年間を通じて目標とすべき教育の姿として、次の2つの基本目標を設定し、その実現を目指して学校教育、社会教育の各分野の教育施策を推進します。

学校教育

自立して社会で生きていく基礎を育み、新しい時代を担える子どもの育成

少子・高齢化や核家族化、地域における地縁的なつながりの希薄化など、日常生活や社会経済が急激に変化する時代に対応できるよう、将来への夢と希望を持ち、厚真の未来を力強く語れる子どもたちの育成を目指します。

そのために、学校教育の場においては、子どもたちに学習意欲を持たせ、基礎的な知識・技能の習得、他人のことを思いやる気持ちやその思いやりを行動に表す心の力、健やかな体づくりを推進し、知・徳・体がしっかりと支え合う生きる力の育成を図ります。

また、体験や交流活動を充実させ、社会的な規範意識^{*}や異文化も含め、いろいろな人とコミュニケーションを図る態度や能力を育成するとともに、社会の一員として自立して生きていくことの大切さを自覚できるよう、学校・家庭や地域住民が相互に連携を深めながら協力して新しい時代を担える子どもたちの育成を推進します。

社会教育

生涯にわたり、支え合い・学び合う地域づくりの推進

超高齢化社会を迎え、だれもが生涯にわたっていつでもどこでも学習することができ、また、学習の成果を生かすことが地域社会の維持と活力につながるとともに、文化・芸術活動やスポーツに親しむ機会は生活に潤いをもたらし、地域コミュニティ^{*}の活性化に結びつきます。

社会が大きく変化する中で、新たな価値を創造する生涯学習活動は、ますます重要性を増しており、個人や社会の多様性を尊重し、それぞれの多様な個性と能力を伸ばし、共に支え合い、学び合う「生涯学習社会」の実現が求められています。

町民一人一人が安心して気軽に活用できる生涯学習施設の利用促進を図るとともに、町民の交流の輪を広げ、学び合う中で新たな絆や生きがいを見つけ、そして地域に根ざした活気のある生活を送ることができるような施策を推進します。

また、町民をはじめ多くの方々に本町の歴史や文化・伝統についての情報を発信し、学習機会や啓発活動の充実による文化の継承に努めるとともに、文化財の保存・展示と活用を推進し、町づくりに生かします。

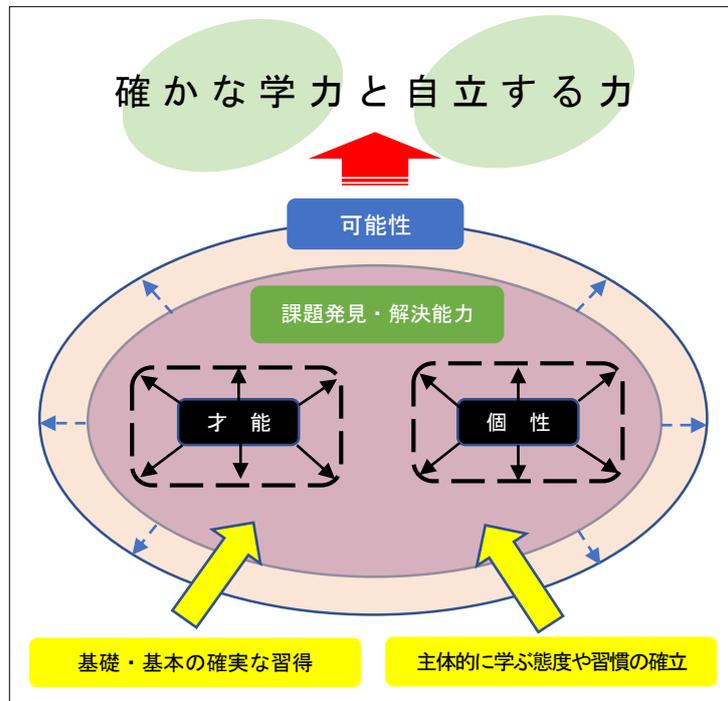
第4章 10年を見通した教育の 基本方向

(平成28年度～令和7年度)

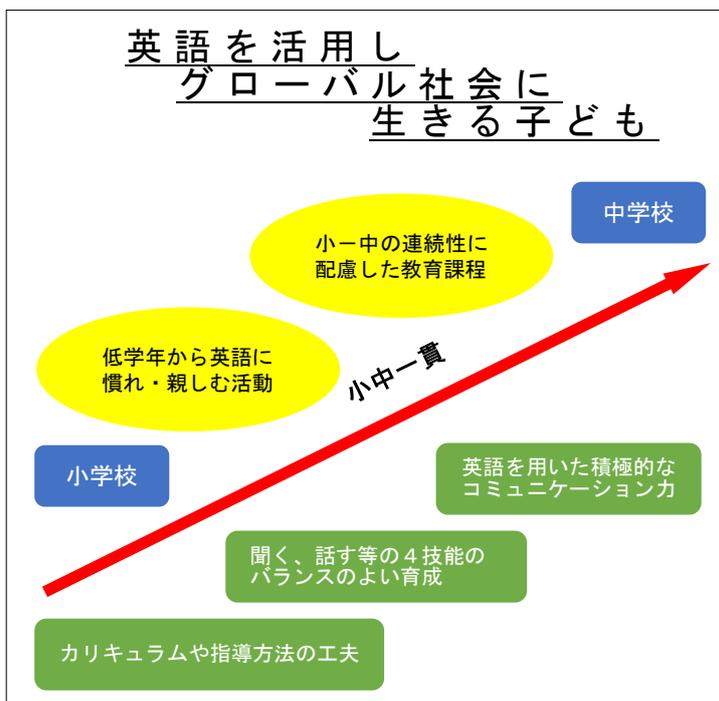
- ・ 施策展開の基本方向体系

1 子どもの可能性を引き出し、才能や個性を伸ばす教育の推進

子どもたちの基礎・基本の確実な習得と主体的に学ぶ態度や習慣の確立を徹底し、「課題発見・解決能力」を高めて「確かな学力と自立する力」の育成に努めます。



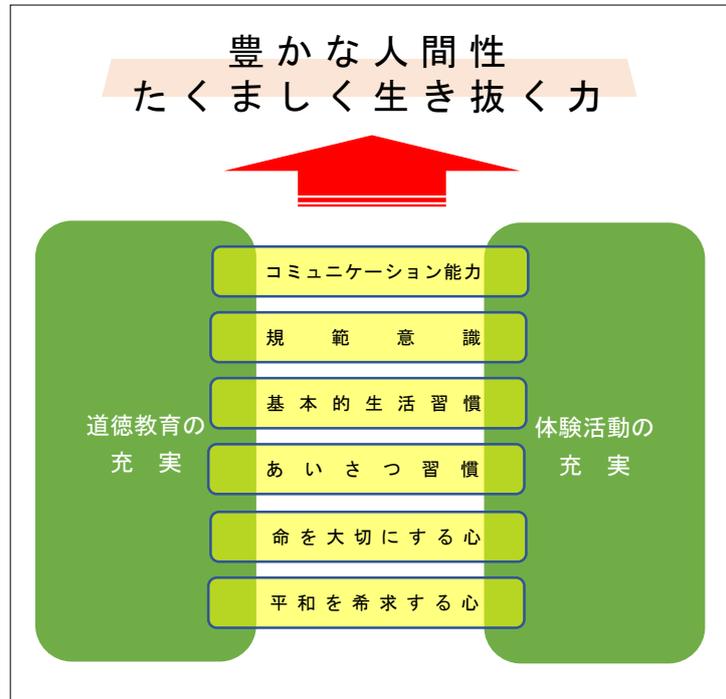
2 英語を活用しグローバル社会^{*}に生きる子どもの育成



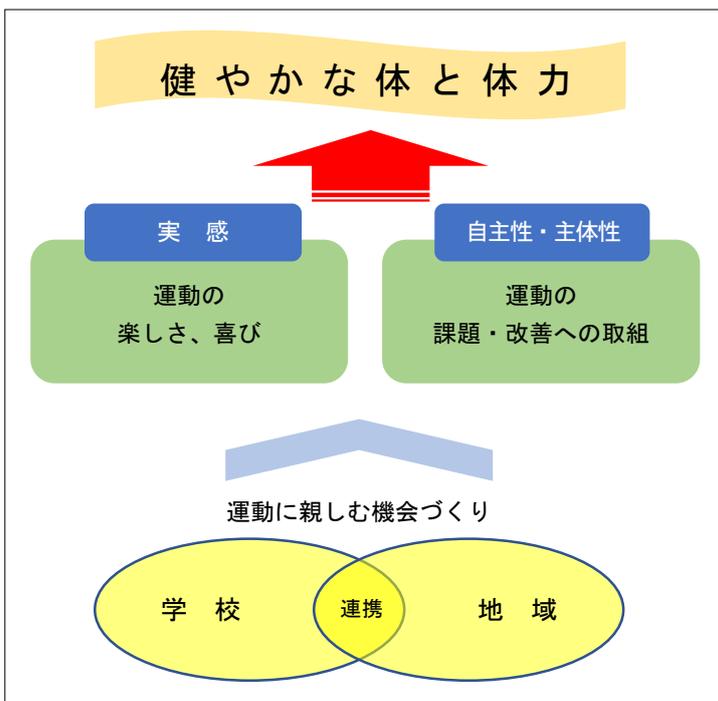
小学校低学年から英語に慣れ親しむ活動時間の設定や、小中の連続性に配慮した教育課程^{*}の編成・実施など、小・中学校が連携して、カリキュラムや指導方法に工夫を加えながら「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能をバランスよく育成し、英語を用いて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成に努めます。

3 豊かな心の力を育む教育活動の充実

平和を希求する心や命を大切に
 する心、基本的な生活習慣、規範意識、あいさつ^{*}の習慣、コミュニケーション能力の向上を目指した道徳教育や体験活動の充実を図り、豊かな心の力を育みます。



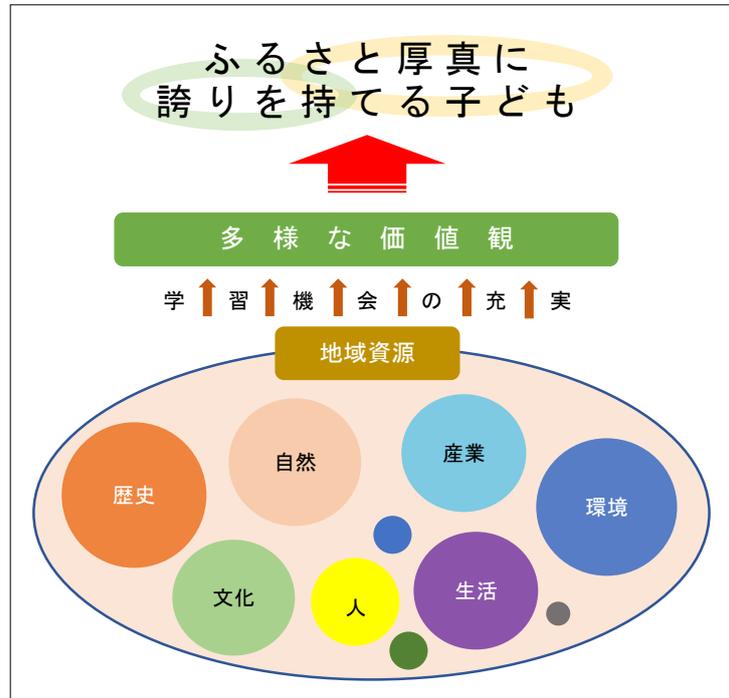
4 健やかな体を育む子どもの育成



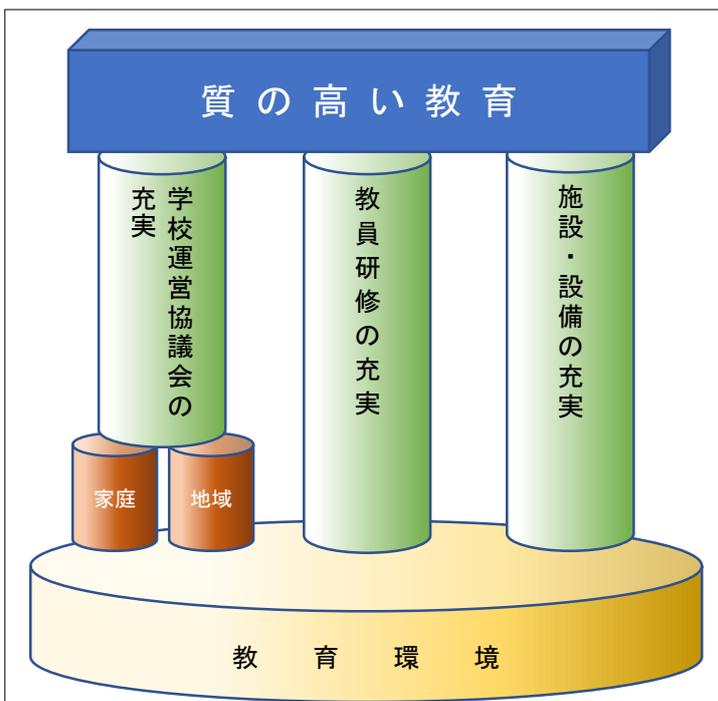
健やかな体と体力は人間の活動の源であり、意欲や気力といった精神面の充実にも大きく関わることから、運動の楽しさや喜びを味わう授業に工夫を凝らすとともに、自ら考え運動の課題の改善につなげるため、学校や地域社会との連携を図って運動に親しむ機会づくりに努めます。

5 ふるさとの良さを理解し、厚真に誇りを持てる子どもの育成

郷土の歴史や文化に学び多様な価値観を育むことができるよう、地域資源を活用した学習機会の充実を図り、ふるさと厚真に誇りをもてる子どもたちの育成に努めます。



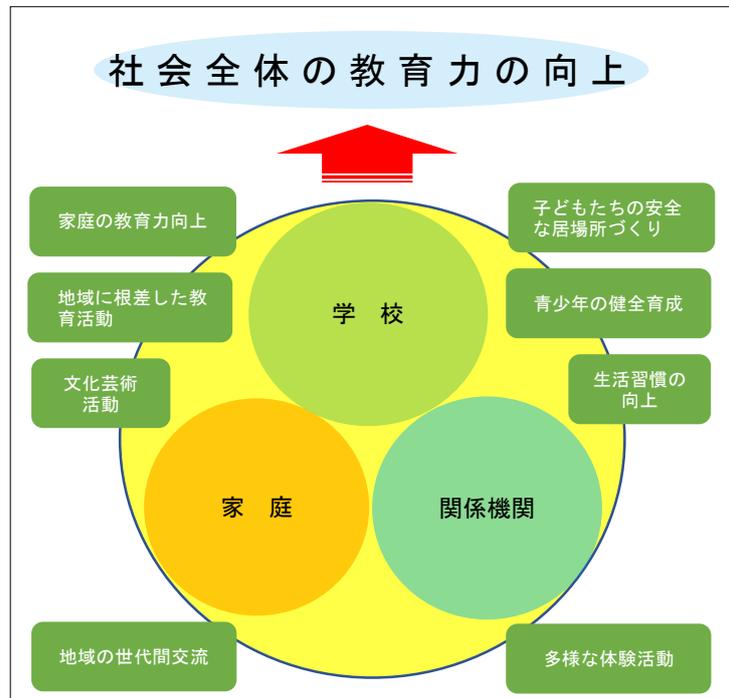
6 質の高い教育を支える教育環境の確保



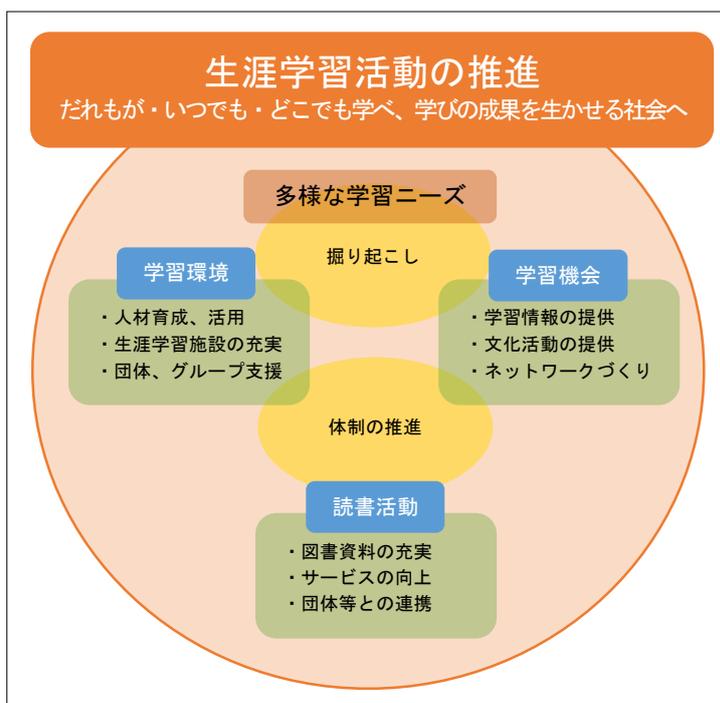
家庭や地域の参画意識を高めながら「コミュニティ・スクール^{*}（学校運営協議会）」の運営を充実させ、学校区ごとに厚真町ならではの特色ある学校づくりを推進するとともに、使命感、資質・力量・識見を高めるための教員研修や情報機器をはじめとする施設・設備の充実にも努めます。

7 社会全体の教育力の向上

地域住民の自発的な意思や主体性を尊重しながら、さらなる連携協働の仕組みを構築し、関係者が一体となって地域の教育力の向上に努めます。



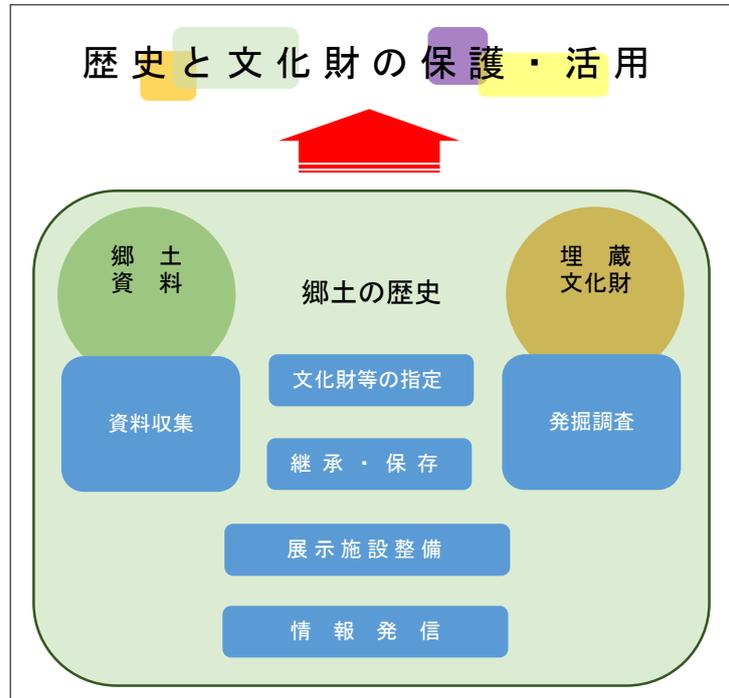
8 生涯学習社会づくりの推進



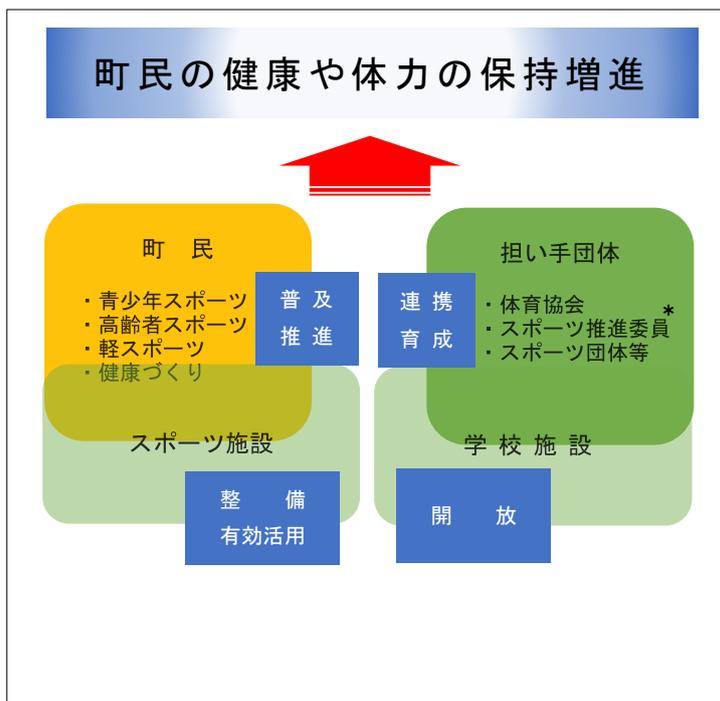
地域全体の学習活動・交流活動を促進して、成果をお互いに分ち合う学習の輪の広がりを目指しながら、単に学ぶだけではなく、学んだことが活かされる生涯学習社会の実現に努めます。

9 郷土の歴史と文化財の保護・活用の推進

埋蔵文化財は、厚真町ならではの歴史と営みを知る貴重な資料となるとともに、将来の町づくりの一翼を担うもので、次世代への確実な継承を図りながら、幅広い活用を目指して必要な施設の整備に努めます。



10 生涯スポーツの推進



生涯を通じてスポーツに親しみ、より活力のある生活を実現するために、各種生涯スポーツ事業を展開するとともに、スポーツ団体等を支援しながら町民の健康や体力の保持増進に努めます。

また、本町の特性を生かし、新しい時代に対応したスポーツ振興戦略の構築に努めます。

